

要 望 書

すえむら濁池の窯跡を守る会
会 長 津田直則
副会長 西田憲治
事務局長 新保憲一

濁池須恵器の窯跡調査と保存

近畿大学医学部移転先用地(田園公園、府営三原台団地、三原公園)、及び新たに建設される(仮称)泉ヶ丘公園用地に日本の文化遺産である「日本最古の」窯跡があります。後世に残すべき、貴重な文化遺産と考えます。この窯跡の調査と保存・活用を要望いたします。

古代、泉北ニュータウン地域は「茅渟県陶邑(ちぬのあがたすえむら)」とよばれ、西暦400年頃から平安時代に至るまで、約500年間1000基余りの窯で須恵器の生産が営なまれました。わが国陶器産業発祥の地と云える地域です。

1) 「六古窯」へ伝播

「茅渟県陶邑」窯の技術は、「六古窯」といわれる「備前焼」・「丹波焼」・「越前焼」・「信楽焼」・「瀬戸焼」・「常滑焼」に伝わりました。日本の陶器は、すべて「茅渟県陶邑」窯からスタートし、日本陶器誕生の地、ルーツです。

2) 「すえむら(泉ヶ丘)の窯」で生産された「大がめ」は

世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」の中核遺跡である仁徳天皇陵古墳で発見されており、百舌鳥古墳群と密接な関係を示しています。

しかし残念ながら1000基ほど存在したと思われる窯跡が、泉北ニュータウン開発時にほとんど、消滅しています。この消滅した、窯跡は大阪府教育委員会が発掘調査しており、「陶邑」という報告書にまとめられ、記録として残っております。

又、ビッグバン・ビッグアイの建設時にも、濁池周辺の窯に関しては確認調査報告書が作成されています。

しかし、窯跡はほとんどが開発とともに消滅し、下記の地域にかろうじて、数基残った、貴重な遺跡です。

1) まず、近畿大学医学部移転用地(田園公園、府営三原台団地、三原公園)に8基、高層棟建て替え中の府営三原台団地の区域に10基。

2) (仮称)泉ヶ丘公園、すなわち新たに泉ヶ丘駅前ビッグバン南の濁池周辺に開設される、公園ですが、公園内の「濁池一帯」は13～16基(特定:TK23)の窯跡が存在しています。

泉北ニュータウンは山を造成し、切り開かれた地域のため、歴史に乏しい地域との認識がありますが、日本の陶器文化の原点ともいえる、すばらしい「歴史文化遺産」を有しています。

私達は、近畿大学医学部移転は賛成です。

この遺産は「泉北ニュータウン・南区」の市民にとって、大きな価値・意味をもたらしてくれます。

- 1)この茅渟県陶邑遺跡は、世界遺産の重要な関連遺跡です。全国に誇る事のできる宝物です。「泉北にも歴史があった」須恵器のふるさとです。
- 2)この誇りある遺産を次世代の子供たちに残し、伝えていきたいと思えます。
- 3)世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」と連携し、観光資源としても活用できます。
- 4)さらに農産物・加工食品等ブランド化し、ビジネスにもつなげていきます。
- 5)陶器文化を通じて国内交流だけでなく、韓国や中国遺跡ルーツの地域との国際交流も可能です。

貴重な「遺産」を守り活用していきたいと存じます。

世界遺産に登録された「百舌鳥・古市古墳群」と密接な関係のある

◆近畿大学医学部移転用地の窯跡遺跡

◆仮称・泉ヶ丘公園の窯跡遺跡

これら窯跡の調査と保存、できれば高槻市 新池ハニワ工場公園、西脇市 古窯陶芸館、瀬戸市南山(古窯館) のような公園整備をお願いします。

「すえむら濁池の窯跡を守る会」発起人

会長 津田直則 (桃山学院大名誉教授) 泉北ニュータウン学会・会長)

副会長 西田憲治 (泉北ニュータウン学会・歴史部世話人)

事務局長 新保憲一 (泉北ニュータウン学会 歴史部会)

歴史を楽しもうかい 代表 新名忍

歴史考古学の集い 会長 柳敬三

すえむら学狭山塾 会長 西田光男

美木多地域歴史資料調査会 小林幸三

顧問 塚口義信 (堺女子短大名誉学長・古代歴史学)

有識者

宮川 歩 文化財保存全国協議会常任委員(いたすけ 古墳保存運動)

中村 浩 紀伊風土記の丘館長 (大阪大谷大学名誉教授)

田中清美 帝塚山学院大学非常勤講師